

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス「学童ねあらい」				公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・本来、療育用に作られた部屋ではないので、備え付けの棚等がなく、環境設定がしづらいです。 ・活動により、場所を使い分けている。 ・机等、お子さんによって小さいところもあるかもしれないと思います。	・現況の建物空間に、必要に応じて棚・ロッカー等を必要に応じて備えていく。 ・机とイスのバランスに留意しながらも、小学校中学年の児童に合うイスの購入を検討す			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	・毎日通の職員から応援をいただいて、適切な職員数を維持しています。 ・利用者の人数制限をしている。 ・女の子がいる日には、女性を配置するなど工夫をしている。	・定員遵守は運営上の重要事項として留意していく。 ・基本的に同性支援を必要・大切なベースとして保護者へも伝えている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・玄関やトイレは、バリアフリー化されていない ・建物が古く、バリアフリーの機能を果たしているとは言えない。 ・遊びの道具が明確にしている。	・バリアフリーの状況ではない箇所イコール危険箇所とはなっていないが、利用者の状況によっては市へ改善要請を進めていく。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・身体を動かす活動では、通常の部屋から移動をし、広い部屋を使っている。 ・メインの保育室は療育に適切とは言いがたいですが、感覚統合遊具の部屋や、グラウンドを活用して、子どもたちの活動を保証しています。 ・教室に物を少なくし、遊びに合わせられるようにしている。	・天候に関わらず体を思い切り動かして活動できる場所が保証されている。屋外、室内共に子ども達の活動に合わせ環境整備を行なっている。受け入れ前の始業点検、業務終了前に清掃、テーブル・イスなどのsh合毒を実施している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・毎日通の療育室を必要に応じて、お借りしています。 ・空き教室の把握	・認められる環境になっている。あそび、心の安定をはかるなど適時、別室利用が行える。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・担当職員間でよく話し合っていると思います。 ・担当職員が毎回行っている。	・担当職員が日ごと、目標設定と振り返りを行っている。応援職員に対しても支援のポイントは適時伝えている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	把握していません。	・療育活動、活動の様子掲示板など要望を確認した事柄については実践している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・個々に合わせた支援に努め、児童に合わせて、活動に入れるよう、職員間で話あっている。 ・面談で意見や要望を整理して伝えています。 ・把握していません。	・療育支援、環境、勤務等に関する意見は適時話をする機会を設け共有している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	把握していません。	・実施していない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・法人研修がとてもためになっています。 ・担当職員が参加している。	・外部研修、法人・園内研修など適時参加している。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・上司の指導のもと、丁寧に作成していると思います。 ・把握していません。	・児童・保護者など利用者の意見等も適時聞き入れながら支援プログラムの作成を行っている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・アンケートを取り、計画作成に反映させています。 ・保護者との会話時間を持つようにしている。	・支援計画作成にあたり、ニーズや5領域に基づいた項目についてアンケート・聞き取りなどを実施している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・上司を中心によく話し合われていると思います。 ・担当職員同士で意見交換している。	・児童の支援に関わる職員で話し合いの機会を設けている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・計画を立てつつ、子どもの姿に応じて、計画にとわれない柔軟な対応をしています。 ・同じ活動でも、個々に合わせた内容になっている。	・児童の育ち、その時の情緒安定度等を考慮し臨機応変な支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・フォーマル、インフォーマル、両方を活用して、適宜記録を取っています。 ・把握していません。	・フォーマル、インフォーマル、両方を活用して、適宜記録を取ってる。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・把握していません。	・5領域に基づいた「本人支援」の他、家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」児童の支援に必要な項目を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・上司と相談し、子どもが興味を持てそうなもの、子どもたちの心身の発達につながるもの、経験することによって子どもの自信につながるもの、など立案しています。 ・日々意見を出し合っている。 ・個別訓練に関しては、専門職が個人として行っています。	・活動プログラムはマンネリ化しないように、児童達の育ちにあわせチームで立案を行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・季節に合わせた活動を取り入れている。 ・1ヶ月単位で、同じジャンルの活動が重ならないよう配慮しています。 ・子ども達の意見も取り入れている。	・季節的な背景、伝統行事などの大切さを考慮し、児童の意見も取り入れながらプログラム作成にあっている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・2時間の療育時間の中で、自由活動と設定活動の両方を準備して、どちらも積極的に参加できるように、職員が適宜支援しています。 ・それぞれの活動が経験できるように計画している。	・療育時間では、自由活動と設定活動を楽しめるように整えている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・児発管と担当職員を中心に、必ず内容、ポイントを確認してから、療育に入るようにしています。 ・応援職員にも分かりやすく伝えられる。	・児発管と担当職員を中心に活動の内容やポイントを確認し療育をすすめている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・記録、話し合い、両面で振り返りを行い、日々療育の改善に努めています。 ・気軽に意見が出せるような雰囲気がある。	・記録等をすすめながら振り返りを行い、その後の支援につなげる、活かすよう改善に努めている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・利用者全員の記録を取り、折を見て確認し、対応の見直しを図っています。 ・毎回記載している。	・療育を実施した日には、必ず個別の記録を記入し、検証と改善に向け務めている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・事業所の担当者さんと連携しながら、定期的に見直しをしています。 ・把握していません。	・定期的なアセスメント、モニタリングを実践し個別支援計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	未回答1 ・自立、創作、余暇に特に重点を置きながら、支援に取り組んでいます。 ・把握していません。	・自立、創作、余暇について特に重点を置きながら支援に取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・職員間で意見交換しながら、子どもたちができるだけ自分たちで意思決定できるような機会を設けています。 ・子ども達のやりたい気持ちを実行出来るよう努めている。	・児童の思い、意見をとにかく聴くことの姿勢を大切にしている。その後に自己決定が生じてくると考えている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・上司を中心に、学童担当者が参加して、意見を伝えています。 ・把握していません。	・該当児童と常に関わっており、関係性も保たれている者が参画している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・医療への情報提供を求められた際には、担当職員が情報提供書を作成し、協力しています。 ・把握していません。	・支援者会議等の必要性に応じて、担当職員が連携を掃かれ体制は整えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・電話にて緊急時の連絡や欠席連絡等対応しています。学童も今後コドモンの利用を検討して欲しいです。 ・保護者から連絡を受けている。	・通常他、年度変わり、転校・転居など費用に応じて適時連絡帳背を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・同じ施設内の為、情報共有しやすい。 ・以前通っていた園との連携は多くはない印象です。	・行政が様式を作成した引継ぎ書を活用し、情報共有・相互理解に務めている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・把握していません。	・相談支援事業所と連携し、移行支援は行えると考えている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	・地域の他の児発との連携はまだ乏しいと思います。これから必要になってくると思います。 ・把握していません。	・法人内の児童発達支援センターと併設されているため、スーパーバイズ、助言や提言、研修等は適時受けられる。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・他施設の子どもの交流、ハードルが高い気もしますが、実現できるといいです。 ・地域交流はあると思います。 ・把握していません。	・現時点ではない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	把握していません。	・参加しているが会合時間が放デイ開催中と重なっている。情報は併設の児発センターとり得る事ができている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・伝えていますが、まだまだ足りてない部分もあると思います。個人面談などの時間も設けて行きたいですね。 ・保護者会を設けている。	・児童の状況等についてはさらに共通理解を深められると良いと考えている。個別面談の必要性は感じている。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・情報があればチラシ等でお知らせしています。 ・子どもを迎えに来た際に行かない、参加しやすくしている。	・家族支援としてテーマを設けたお話を実施している。テーマを設け資料を用意している。テーマに添わなくとも和やかな懇談のがされている。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・上司が行ってくれていますが、自分ができるかと言われると？です。 ・全体説明会に参加できない家庭にも、後日説明する場を設けている。	・利用開始前の重要事項説明で行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	未回答？空欄2 ・把握していません。	・自己評価の実施から意向の把握その後の実践を心がけている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	家庭で確認出来るようにしている。	・手渡しを行い、説明の機会を設けている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・個別対応、お話など、その家庭の状況に応じてきめ細やかに対応しています。 ・職員からも声を掛けている。	・相談には適時応じられるよう務めている。 児童の様子や言動などから職員から声をかける機会もある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者で困りごとを話す場を作っている	・保護者のお話会がそのような機会になっている。兄弟同士で交流する場合は設けていないが、児童の送り迎えなどで交流する機会が生じている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	少しでも早い対応を意識している。	・対応の体制は上司への報告が速やかに行われることから始まり、迅速に行えるよう整えている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	・定期的な通信は、ありませんが、月1回のお話会で、児童の様子を伝えたり、送迎の際にその日の児童の様子を伝えるなど、できる限り伝えられるようにしている ・通信やSNSの発信、足りていないと思います。これからの課題だと思います。 ・SNSなどはしていないが、送迎や同席して頂いているため様子を伝えている。	・定期的な発信はできていない。SNSの有効活用は今後の課題であり、実践を目指したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人が特定されるような重要な書類は、ダブルチェックを図ったり、手渡しするなど、誤配布のないよう気をつけています。 ・個々の書類をそれぞれのファイルにいれ、職員、家族以外の目に触れないようにしている。	・複数職員での情報共有・二重チェック、書類はモザイクファイルで扱う等の配慮を行っている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・ことばでの交流が難しいようなら、ボディサイン、絵カード、写真を使って、意思伝達が円滑に図れるよう支援しています。 ・把握していません。	・多様なコミュニケーション手段を活用して、意思の疎通や情報伝達が行えるよう配慮している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	地域のお年寄りが減っており、高齢化もあって、交流しにくい状況になっていると感じています。	・併設の児発センターで実施している。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・職員への周知は出来ていますが、保護者への周知はまだ足りていないと思います。今後の課題です。 ・施設内全体で取り組んでいる。	・訓練は不定期だが行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		・BCP策定後、訓練は実施していない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	保護者に記載をお願いしている。	・利用開始時に保護者が記入する「児童基礎データ」で把握し、職員へ周知している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	おやつを数種用意している。	・現在、医師の指示書が出されている児童の存在がいない。そのような状況になれば即時対応を進める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		・本年、年度途中に安全計画の掲示、配布を実施した。訓練は不定期だが行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・周知が足りていないと思います。これからの課題です。 ・利用前に伝え、質問を受けている。	・令和7年度、年度初めのお話会で周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・朝終礼などで情報を共有し、再発に努めています。 ・振り返りの中で行なっている。	・事例が発生した場合は、事業所内の朝終礼で今後の対応も含め報告している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・職員会議の時に実施して、意識の向上を図っています。 ・施設内共通で行なっている。	・職員会議にて虐待防止、権利擁護について学び、外部研修へも参加している。

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	<div>・今のところ、そのような事態は起こっていませんが、もしそういう局面が訪れた際に、職場の十分な話し合いと、保護者の了解が不可欠であることは認識しています。</div> <div>・現時点では行われていないが、必要性が生じた時には組織的に協議し慎重な対応を進めていく。</div>
--	----	--	---	---	---